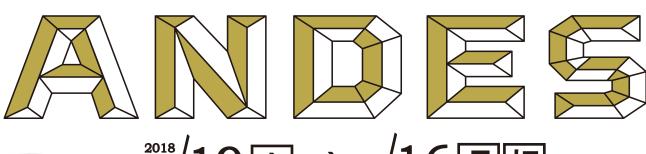
# —— 山梨県立

# 専物館だより NO. 85

http://www.pref.yamanashi.jp/kouko



## **ANCIENT CIVILIZATION OF**





アンデスって、 なんです?



#### 序章 アンデスへの人類到達

【紀元前 | 万3000年~前3000年頃】

アンデス原産であるトマトやトウガラシ、ジャガイモなどの作物は世界の料理を変えたと言われています。アンデス特有の環境に、いつ、どのようにして人類は到達したのでしょう。序章では、アンデスに人が定住するまでの長く、複雑な過程を最新科学から辿りつつ、アンデス地域のさまざまな環境を紹介します。



#### 第1章 アンデスの神殿と宗教の始まり

カラル文化【紀元前3000年頃~前2000年頃】

ペルーの首都リマから北に200kmほど離れた場所にある、世界遺産「カラル遺跡」。砂漠地帯であるカラルでは定住生活が始まった痕跡が見つかっており、祭祀センターが造られた地域組織が存在していたといいます。カラル遺跡は、本当にアンデス文明の起源なのでしょうか?第 I 章では、アンデスでどのような神殿がいつ建造され、どのような宗教を持っていたのかを紹介します。



### 第2章 複雑な社会の始まり

チャビン文化【紀元前 | 300年~前500年頃】

数々の石造りの壮大な建造物で知られる古代アンデス文明。石の文明の始まりはどの時代からだったのでしょうか。ペルー北部山岳地帯のチャビン文化では、石彫の神像や頭像などが見られ、その片鱗をみることができます。また、この時代は地域ごとに独特な宗教観が芽生え、社会の統一が始まっていきました。 第2章では、広範囲に影響を及ぼしたチャビン文化の宗教観や図像、そして社会構造を紹介します。



画像上から:《アンデスのトウモロコシ》/《カラル遺跡》/《差し込み用の突起付き石の頭》チャピン文化 ベルー文科省・国立チャピン博物館所蔵

## 第3章 さまざまな地方文化の始まり

ナスカ文化【紀元前200年頃〜紀元650年頃】 モチェ文化【紀元200年頃〜750/800年頃】





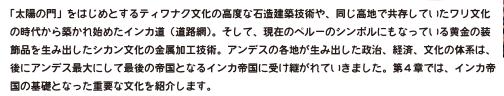


アンデス文明は文字を持たなかったため、土器の意匠が意思疎通のツールとなっていたといわれています。モチェ文化では、土器を通して人々が共有していた 「神々」「死者」「自然」「人間」の4つの世界観を紹介します。また、地上絵で知られているナスカ文化では、社会構造が変化するほどの急激な環境変化を経験したことがわかっています。この章では、モチェ文化とナスカ文化、同時代の異なる地域でどのような文化が華ひらいたのかを探ります。

画像左から:《リャマが描かれた主器》ナスカ文化 ディダクティコ・アントニーニ博物館所蔵 / 《アシカをかたどったあぶみ型単注口土器》モチェ文化 ラルコ博物館所蔵 / 《ナスカの地上絵・ハチドリ》

第4章 地域を超えた政治システムの始まり

ティワナク文化【紀元500年頃~||00年頃】 ワリ文化【紀元650年頃~|000年頃】 シカン文化【紀元800年頃~|375年】



画像左から:《トルコ石の象嵌された黄金の頭飾リ》ティワナク文化 先コロンプス期貴金属博物館所蔵/《インカ道》ペルー

### 第5章 最後の帝国――チム―王国とインカ帝国

チム―王国【紀元1100年頃~1470年頃】

インカ帝国【紀元 | 5世紀早期~ | 572年頃】

文字を持たなかったアンデスの人々の思想や宗教観などの変遷は、長い年月をかけて発展してきた黄金や石像、土器、織物など、それぞれの文化の持つ特有のデザインを通して知ることができます。第5章では、アンデス文明の最後を飾った、チム一王国とインカ帝国という二つの勢力の覇権争いを描きます。そして、アンデス地域に南北4000キロにもおよぶ大帝国を築きながら、わずか I 68名のスペイン人の侵略によってあっけなく崩壊したインカ帝国の実像を紹介します。

画像:《インカ帝国のチャチャポヤス地方で使われたキープ》インカ文化 ベルー文科省・ミイラ研究所・レイメバンバ博物館所蔵

### 第6章 身体から見たアンデス文明

人の身体も文化の所産です。身体に描かれたさまざまな意匠には、その文化の持つ特質が表れています。 古代アンデス文明には、旧大陸には見られないミイラの文化が育ちました。インカの王は死後ミイラと なり、家臣にかしずかれながら生活していました。にわかには理解できないこの風習も、その起源や発 展の様子を眺めると、人間の本質が見えてきます。この章では、身体に表れたさまざまな加工の跡を概 観し、アンデスの生老病死について考えます。

画像:《頭蓋穿孔された頭》チリバヤ文化(紀元900年頃~1440年頃) ペルー文科省・ミイラ研究所・チリバヤ博物館所蔵



特別展記念講演会

6 月 10 日 (日) 13:30 ~ 15:00 定員:100 名

◆「アンデスのミイラ―その誕生から消滅まで―」 篠田 謙一 氏

(国立科学博物館副館長 兼 人類研究部長

◆「インカ帝国はなぜ滅びたか」網野 徹哉 氏

(東京大学大学院総合文化研究科 教授)

会 場 風土記の丘研修センター講堂

※参加費は無料ですが事前予約が必要です。5月10日(木)から電話(055-266-3881)またはホームページの電子申請にてお申し込みください。

#### アルパカ記念撮影会

5月26日(土)・7月8日(日)

アンデスの申し子!? もふもふカワイイ アルパカが登場! 一緒に写真を撮って

※ふれあいにはチケットの半券が必要です。
※荒天時は中止になる場合があります。

#### 覧料】

一般・大学生 1,080 円 (860 円) 高校生以下・県内在住の 65 歳以上無料 ※( ) 内は 20 名以上の団体料金 ※隨雲者手帳をお持ちの方と付き添いの方 1

【前売り券】 一般・大学生 860 円

前売り券販売場所】

|ーソンチケット、セブンチケット、チケットびあ、イーブラス |梨県立考古博物館、テレビ山梨事業部【055-232-1118】、ほか 月1日(日)~5月 18 日(金)まで販売。

チケット情報

💓 @yamanashi\_kouko 👖 @yamanashi.kouko1103

撮影:義井豊